

解決したい看護課題や施設規模によって選べる、

3つのソリューションシステム

NICSS® R7

大規模病院・地域中核病院にふさわしい、高機能フルスペックシステム

●ナースコール機能
NICSS親機上にリアルタイム*1で感染症などの情報が反映され、最新の情報が把握可能。ドクターのオーダー変更もPHSに通知するので、いち早く対応できます。

●患者情報管理機能
看護に必要な患者情報を、用途に応じてわかりやすく表示できます。同姓同名の患者さんは赤文字で注意喚起。患者取り違い事故を防ぐための安全機能も装備しています。

●病棟情報共有機能
スタッフ間で共有すべき患者情報を一元管理。患者さんの入退院・出棟・外出外泊などの移動情報、救護区分の集計、不在人数などが一目でわかります。

呼出ポップアップ	ナースコール履歴管理	個別情報廊下灯	アラーム
ME機器連動	*1 オーダーアラート	チームナーシング	個別音量設定
特定呼出	PHS患者氏名表示	夜間切替	常夜灯
断線防止	同時複数通話		

ベッド表示	患者情報表示	同姓・同名注意喚起	センサー接続表示
*1 ToDoリスト	スプレッドシート		

ホワイトボード表示	伝言メモ	*1 進捗管理
-----------	------	---------

*1 院内情報システムとの連動が必要となります。連動先のシステムや連動する情報により機能しない場合があります。

NICSS® R5

夜間の少人数看護に配慮した、中小規模病院向けシステム

●ナースコール機能
患者氏名・救護区分・担当チームなど、必要な情報を画面上で確認可能。看護師の人数が少なくなる夜間など、ナースコールを1ヶ所に集中させることもできます。

●患者情報管理機能
患者情報を確認できるベッド表示は、一覧表示とボード表示を切り替えをご用意。医事システムと連動することにより、患者情報入力作業も省力化できます。

呼出ポップアップ	ナースコール履歴管理	個別情報廊下灯	アラーム
ME機器連動	オーダーアラート	チームナーシング	個別音量設定
特定呼出	PHS患者氏名表示	夜間切替	常夜灯
断線防止	同時複数通話		

ベッド表示	患者情報表示	センサー接続表示
-------	--------	----------

NICSS® R3

呼出の履歴が確認可能、操作性も高めたベーシックシステム

●ナースコール機能
ナースコール履歴が50件まで残り、液晶表示で確認可能。どのベッドからの呼出だったのかがわかり対応の漏れを防止します。見やすい表示画面など、操作性も向上しました。

●患者情報管理機能
マルチアクシード2Aを病室の子機に接続するだけで、スタッフステーションの親機にセンサー接続表示。注意の必要な患者さんの把握が可能となります。

呼出ポップアップ	ナースコール履歴管理	個別情報廊下灯	アラーム
ME機器連動	オーダーアラート	チームナーシング	個別音量設定
特定呼出	PHS患者氏名表示	夜間切替	常夜灯
断線防止	同時複数通話		

患者情報表示	センサー接続表示
--------	----------

院内情報システム連動 *2

OPTION: R7専用 ●電子カルテシステム連動 ●オーダーリングシステム連動
R7は、病棟内のさまざまなシステムとの連動が可能。オプションにて電子カルテシステムやオーダーリングシステムと連動できます。

OPTION: R7・R5専用 (R5は一部標準対応) ●●医事システム連動
医事システムと連動するためのソフトです。R7ではオプション対応。R5では標準対応。(ただし、指定インターフェイス以外での連動はオプション対応)

OPTION: R3専用 ●●呼出履歴管理ソフト *2
R5に標準装備されている「ナースコール履歴管理」「ベッド表示」「患者情報表示」「センサー接続表示」を、R3に追加するためのソフトです。

看護支援ソフト

OPTION: R7専用 ●●帳票ソフト
帳票類の作成など、看護部長さんや看護師長さんの間接業務を軽減します。

●●予定作成ソフト
看護予定の作成やワークシートの印刷により、看護業務をより効率化させることができます。

●●実施記録ソフト
予定に対する実施記録、体温表の自動作成など、看護の記録業務を効率的にサポートします。

他、6種のソフトがあります。

OPTION: R7・R5専用 ●●全館ベッド管理ソフト
空床状況や感染症患者さんのベッドの移動履歴管理など、効率的で安全なベッドコントロールを支援します。

●●褥瘡対策支援ソフト
褥瘡対策診療・看護計画の立案、ケア経過記録の作成を支援します。

●●重症度・看護必要度ソフト
診療報酬改定に対応し、病院独自の看護必要度集計が可能です。

●●転倒・転落スコアシートソフト
アセスメントスコアの評価で、転倒・転落のリスクが把握できます。

*2 別途、サーバーやパソコン等が必要となります。